

## <理科> 4年

### 「大田区学習効果測定」結果の分析

全般的に前年度の正答率を下回っている。「こん虫のからだのつくり」や「身近な自然の観察」については、目標値を上回っている。

- ・「太陽と地面のようす」地温の正しい測り方ができていない児童がいる。
- ・「電気の通り道」では、明かりがつく回路について理解できていない児童がいる。

### 重点課題

〈自然事象への関心・意欲・態度〉

- ・じしゃくのせいしつなどの現象、太陽と地面の様子などの自然事象に興味・関心をもち、進んで調べようとする意欲をもつこと、そして、最後まで追求する態度を育てることが課題である。

〈科学的な思考・表現〉

- ・動物の活動や植物の成長、太陽の動き・天気の様子などを、季節・時間・気温と関係づけ、予想を立てながら観察したり、自らの気づきをもとに問題解決をしたりすることが課題である。
- ・自然の事物や現象の変化は何と関係しているのかを、既習事項や生活体験から推測して考える力を育てることが課題である。

〈観察・実験の技能〉

- ・動物の活動や植物の成長を、視点を明確にして季節と関係づけながら、観察を継続させることが課題である。
- ・目的に沿った実験を安全に行い、実験内容をよく理解し、結果を自分なりの言葉で工夫して記録することが課題である。
- ・電気のはたらきでは、どのようにつなげば電流が流れるのかを理解することが課題である。

〈自然事象についての知識・理解〉

- ・確かな知識・理解の定着を図ることが課題である。

### 授業改善策

〈自然事象への関心・意欲・態度〉

- ・一人一人が体験の中で気づきや発見を大切に学習が進められるよう、授業の流れを工夫する。
- ・実験や観察に興味・関心をもって取り組めるような教材の提示、導入の工夫をする。

〈科学的な思考・表現〉

- ・生き物の活動や成長については、季節とのかかわりに着目して予想を立てながら考えをもたせていく。
- ・自然の事物・現象の変化には何がどう関係するのかを考えさせながら、見通しをもって問題解決を行わせる。
- ・実験の中から、一人一人の気づきを大切に授業の中で拾い上げ、自らの疑問や課題を追究できるような授業展開を工夫する。
- ・児童の科学的な見方や考え方が一層深まるように、観察・実験の結果を整理・考察し表現できるように、ノートやワークシートの記入方法を指導する。
- ・児童の生活体験や既習事項との関連を考慮し、学習内容を、実感をともなって理解できるように、授業展開や学習活動を工夫する。

〈観察・実験の技能〉

- ・動物の活動や植物の成長では、観察の視点を明確にする。その際、季節と関係づけて考えられるような話や発問をする。
- ・安全に実験が行えるよう、器具の使い方を十分行ったり、図を使って説明したりする。

〈自然事象についての知識・理解〉

- ・観察・実験をもとにして、学習内容を確認・整理・習熟する時間を取り、体験から知識の定着を図る。
- ・植物の育ち方については、観察の機会を増やし、成長の過程を詳しく観察できるようにする。
- ・月・星の動きについては、日常的に意識をさせ、教室内に方位や資料を掲示したり、家庭でも観察するように呼びかけたりする。
- ・知識の定着を図れるように視聴覚教材も適宜活用していく。